

たかおか

市議会 だより



No.26 3月定例会号
平成24年(2012年)5月1日発行

| | |
|------------|-----|
| 3月定例会のあらまし | 2P |
| 新たな議会の構成 | 4P |
| 代表質問 | 5P |
| 個別質問 | 7P |
| 総括質問 | 11P |
| 委員会の動き | 12P |

編集■議会広報編集委員会
発行■富山県高岡市議会
〒933-8601 高岡市広小路7-50
TEL 0766-20-1531
FAX 0766-20-1534
E-mail : gikai@city.takaoka.lg.jp

「高岡市議会基本条例(案)」及び「高岡市議会議員政治倫理条例(案)」 制定のための市民説明会開催・パブリックコメント募集

議会の指針となる二つの条例の制定に当たり、市民説明会を開催します。また、パブリックコメントを実施し、広く市民の皆さまの意見を募集します。

1 市民説明会の開催について

- 開催日 平成24年6月4日(月)
午後7時～8時30分まで
- 開催場所 生涯学習センター(ウイング・ウイング高岡)
4階ホール
- 定員 250名(先着順 入場無料)
※事前申し込みは不要です。

2 パブリックコメントについて

- 意見の提出方法／ご意見提出用紙に記載のうえ、議会事務局(議会棟2階)へ直接持参いただくか、郵便、FAX、電子メールでお寄せください。なお、ご意見提出用紙及び条例案は、市議会ホームページに掲載するほか、議会事務局(議会棟2階)、市役所本庁舎(総合案内カウンター、情報公開コーナー)、福岡庁舎(地域振興課)、伏木・戸出・中田支所、各地区連絡センターに備えてあります。
- 意見の提出期間／平成24年5月7日(月)～6月6日(水)
- 提出・問合せ先／高岡市議会事務局 〒933-8601 高岡市広小路7番50号
TEL 0766-20-1533 FAX 0766-20-1534 E-mail : gikai@city.takaoka.lg.jp



平成24年度予算

総額1330億7643万円を可決

代表・個別・総括質問に16人が登壇

3月定例会は1日に開会し、22日に閉会しました。市長から平成24年度予算をはじめ47議案が、議員から意見書など7議案が提出され、うち52議案を可決・承認・同意しました。

今定例会では、代表質問に2会派、個別質問に12人、総括質問に2人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

可決した主な議案等

■防災行政無線施設条例の一部改正

条例

■職員定数条例の一部改正
職員定数を2050人から2025人に改正するもの。

■介護保険条例の一部改正

第5期介護保険事業計画（平成24年度から26年度まで）に基づき介護保険料率の改正等を行うもの。

■子ども医療費助成条例の一部改正

平成24年10月から子ども医療費助成対象者を拡大するもの。

（入院）小学校6年生まで
↓中学校3年生まで
（通院）小学校3年生まで
↓小学校6年生まで

■防災行政無線施設のデジタル化により、一部の子局において自治会との双方向の通信が可能となったため、所要の改正を行うもの。

■暴力団排除条例

市民の安全で平穏な生活を確保し、市民経済の健全な発展に寄与することを目的として、県とも連携・協力し、暴力団の排除を市として総合的に推進するため、新たに条例を制定するもの。

その他

■工事請負契約の締結

（横田小学校校舎耐震補強工事）
契約金額 2億1525万円



高岡の新世紀の幕開け

報告

■専決処分の報告

今冬の除雪に対処するため、予算補正を専決処分したものを報告。

人事

■人権擁護委員

道前 正光氏（再任）（伏木一宮）

立浪 邦雄氏（再任）（佐加野）

廣瀬 哲丈氏（再任）（木津）

尾崎 かをる氏（新任）（福岡町福岡新）

■農業委員会委員（議会推薦）

濱木 慶子氏（再任）

西本 恵子氏（新任）（福岡町一步二歩）

樋詰 和子議員（再任）（佐野）

主な議決結果一覧

■初日提出議案

平成24年度 当初予算

- ◇一般会計……………賛成多数で可決
- ◇国民健康保険事業会計……………賛成多数で可決
- ◇下水道事業会計……………賛成多数で可決
- ◇荻布奨学金事業会計……………全会一致で可決
- ◇駐車場事業会計……………全会一致で可決
- ◇工業団地造成事業会計……………全会一致で可決
- ◇農業集落排水事業会計……………賛成多数で可決
- ◇介護保険事業会計……………賛成多数で可決
- ◇後期高齢者医療事業会計……………賛成多数で可決
- ◇高岡市民病院事業会計……………全会一致で可決
- ◇水道事業会計……………全会一致で可決
- ◇工業用水道事業会計……………全会一致で可決
- ◇簡易水道事業会計……………全会一致で可決

■条例

- ◇事務分掌条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇職員定数条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇市税賦課徴収条例の一部改正……………賛成多数で可決
- ◇手数料条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇国民健康保険出産資金貸付基金条例の廃止……………全会一致で可決
- ◇きずな学園条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇ひとり親家庭等医療費助成条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇介護保険条例の一部改正……………賛成多数で可決
- ◇子ども医療費助成条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例……………全会一致で可決
- ◇防災行政無線施設条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇暴力団排除条例……………全会一致で可決
- ◇農村環境改善センター及び農村集落多目的共同利用施設条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇市営駐車場条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇下水道条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇火災予防条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇水道事業、簡易水道事業及び工業用水道事業の設置等に関する条例の一部改正……………全会一致で可決

討論要旨(発言順)
—平成24年度予算—

○日本共産党《一般会計、国民健康保険事業・下水道事業・農業集落排水事業・介護保険事業・後期高齢者医療事業の各会計：反対、その他の会計……賛成》

新幹線対策事業などの市財政を圧迫する大型事業の見直し、小中学校の耐震化率の向上、中小企業や地場産業への支援や、市保有株の売却などによる財源確保や市債管理の強化を求める。

一方、国民健康保険税、下水道使用料、介護保険料の財政努力による引き下げや、国庫補助率の引き上げを求める。また、後期高齢者医療制度の保険料の引き上げの中止と制度の廃止を求める。

○自民党議員会

《全会計：賛成》

高岡新世紀創造プロジェクトに掲げる五つの施策に重点的に予算を配分し、全てに増額が図られたこと、また、将来を見据えた発展性の高い取り組みを積極的に予算化したことを評価する。今後は、総合計画第2次基本計画の始動により、環日本海できらりと

光る存在感のあるまちの創造に取り組みとともに、東日本大震災による被災地の復旧・復興のため引き続き支援し、震災がれきの受け入れに向け、できる限りの対応をするよう要望する。

○自民クラブ

《全会計：賛成》

厳しい経済情勢の中で、厳正な施策の選択と限られた財源を重点的・効率的に配分し、将来の飛躍、発展の布石となる予算編成となっていることを評価したい。新世紀創造プロジェクトに掲げた施策に重点的に取り組み、環日本海できらりと光る存在感のあるまちづくりに向けて積極的な事業展開に努められるよう期待する。また、本市が新世紀に向け大きく飛躍するための起爆剤となる北陸新幹線の開業に向けた大型事業を着実に進められたい。

○公明党 《全会計：賛成》

事務事業の見直しなどによる行財政改革に取り組みたい。また、小中学校の耐震化の前倒し、力強い子育て支援策としてのこども医療費助成の対象年齢の拡大、北陸新幹線開業に向けた積極的な予算の配分など、戦略的な予算であることを評価する。

歴史都市認定を受けて、豊富な歴史・文化資産を磨き、にぎわいあふれる元気な高岡市の建設に励まれたい。

○民主クラブ

《全会計：賛成》

こども医療費助成の拡充、子宮頸がん等のワクチン接種事業の継続や津波ハザードマップ作成事業など、安心・安全なまちづくりを実現するための施策が盛り込まれた予算となっており、評価している。一方、総合計画第2次基本計画の着実な実行のためにも、行財政改革の推進や、選択と集中による事業の見直しを行うことが必要であり、市民に対しても透明性のある行政運営に努められたい。

○社民党議員団

《全会計：賛成》

厳しい財政状況であり、予算の執行に当たっては、歳出の削減・効率化に努められたい。こども医療費助成の対象年齢の拡大は評価するが、義務教育期間の医療費の完全無料化などにも取り組まれたい。また、介護保険料の引き上げ額を低く抑えたことに一定の評価をするが、国に対し国庫補助の拡大を求める。さらに、災害対策の強化や原子力防災計画の抜本的見直しへの取り組みを要請する。

その他

- ◇指定管理者の指定（铸物資料館）……………全会一致で可決
- ◇工事請負契約の締結（横田小学校校舎耐震補強工事）……………全会一致で可決
- ◇財産の譲与（土地及び建物）（2件）……………全会一致で可決
- ◇財産の譲与（建物）……………全会一致で可決

報告

- ◇専決処分（平成23年度一般会計補正予算）……………全会一致で承認

2日目追加提出議案

平成23年度 補正予算

- ◇一般会計……………全会一致で可決
- ◇国民健康保険事業会計……………全会一致で可決
- ◇下水道事業会計……………全会一致で可決
- ◇駐車場事業会計……………全会一致で可決
- ◇介護保険事業会計……………全会一致で可決
- ◇後期高齢者医療事業会計……………全会一致で可決
- ◇高岡市民病院事業会計……………全会一致で可決

最終日追加提出議案

人 事

- ◇人権擁護委員の推薦（4件）……………全会一致で同意

議員提出議案

- ◇国民的な議論の下に年金制度抜本改革の制度設計を求める意見書……………賛成多数で可決
- ◇鳥獣被害防止対策の充実を求める意見書……………全会一致で可決
- ◇農業者戸別所得補償制度の見直し等、農業政策の立て直しを求める意見書……………全会一致で可決
- ◇特定疾患治療研究事業の対象疾患の安易な見直しに反対する意見書……………全会一致で可決
- ◇公的年金2.5%の引下げに反対する意見書……………賛成少数で否決
- ◇東日本大震災に伴う災害廃棄物の広域処理方針の見直しを求める意見書……………賛成少数で否決
- ◇東日本大震災で発生したがれきの受け入れに関する決議……………賛成多数で可決

新たな議会の構成

3月定例会最終日の22日に、議長の辞職に伴う選挙を行い、新たに荒木泰行氏が議長に選ばれました。また、これに伴い、委員会の委員も一部変更となりました。

議長に荒木泰行氏



荒木議長

青木副議長

新議長、抱負を語る

「本市を取り巻く環境は、長引く景気低迷による市税収入の減収などにより非常に厳しい状況であるが、行財政改革の推進はもとより、施策の選択と集中により、限られた財源の有効活用に努めなければならない。一方、市議会

としての、議会基本条例や倫理条例の制定を目指し、市民の負託に応えるべく開かれた議会運営に努力したい。また、北陸新幹線整備事業の推進や日本海側拠点港選定を受けた伏木富山港な

荒木議長

副議長、議会運営委員長、港湾対策特別委員長などを歴任。

変更のあった委員会

| | |
|--|--|
| 民生病院 常任委員会 ◎狩野 安郎 ○大井 正樹 四十九清治 高島 義一 梅田 信一 南部 周三 青木 紘 | 総務文教 常任委員会 ◎曾田 康司 ○金森 一郎 島村 進 荒木 泰行 舘 勇将 樋詰 和子 二上 桂介 柳清 利勝 |
| 議会広報 編集委員会 ◎川島 国 ○曾田 康司 吉田健太郎 中山 欣一 永森 茂 金森 一郎 上田 武 水口 清志 南部 周三 青木 紘 荒木 泰行 | 歴史文化・ 広域観光対策 特別委員会 ◎水口 清志 ○狩野 安郎 上田 武 高島 義一 盤若 進二 金平 直巳 樋詰 和子 二上 桂介 島 起也 |

議会運営 委員会

- ◎高島 義一
- 水口 清志
- 曾田 康司
- 上田 武
- 四十九清治
- 川島 国
- 金平 直巳
- 樋詰 和子
- 二上 桂介
- 島 起也

◎委員長
○副委員長

※委員長・副委員長以外は議席順

会派構成変更のお知らせ

新会派の結成等により、会派構成が次のとおりとなりました。(平成24年4月1日現在)

※議席順

- 自民党議員会(10人)
 永森 茂
 酒井 立志
 狩野 安郎
 川島 国
 高島 義一
 梅田 信一
 荒木 泰行
 舘 勇将
 島 起也
 山沼 茂敏
- 自民クラブ(8人)
 曾田 康司
 水口 清志
 盤若 進二
 大井 正樹
 二上 桂介
 磨伊 義広
 大井 弘
 柳清 利勝
- 社民党議員団(3人)
 石須 大雄
 上田 武
 島村 進
- 公明党(2人)
 吉田健太郎
 樋詰 和子
- 日本共産党(2人)
 南部 周三
 金平 直巳
- 民主クラブ(2人)
 中山 欣一
 四十九清治
- 政峰会(1人)
 金森 一郎
- 無所属(1人)
 青木 紘

代表質問

今定例会では、2会派の代表が市政全般にわたり質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



自民クラブ

二上 桂介

高岡らしいまちづくり

問 平成24年度予算での高橋カラーは。

市長 24年度は、高岡らしさを前面に打ち出した総合計画第2次基本計画のスタートの年であり、まちを磨き、魅力をつなぎ、未来を創ることをキーワードに、高岡らしいまちづくりを加速させたい。なかでも、新幹線開業を迎えて都市基盤整備が進み、高まってきた交通拠点性を活かしながら、歴史都市の実現に向けて豊富な歴史・文化資産やものづくりの伝統を磨くための施策、新たな文化や新たな産業を創出するための施策に力を注ぐことにした。また、まちづくりを支える人づくりへの取り組み、安全・安心のまちづくりといった政策・施策分野においても、高岡らしいまちの魅力と都市の強みを活

かした施策を打ち出すことができたと考えている。

行財政改革

問 市債残高の見込みが、平成24年度で1000億円を超える。将来展望をもって増加する市債残高を抑制する必要があると考えるが、見解は。

市長 建設事業債の残高については、26年度の北陸新幹線開業までは戦略的な都市基盤整備への取り組みなどから増加が見込まれるが、投資的事業の優先度、緊急度などを十分勘案して事業の選択と集中を行うことで、できる限り市債残高の抑制を図っていきたい。また、近年、市債残高増加の一因となっている臨時財政対策債については、本来地方交付税で措置されるべきものであり、これ以上市債残高を増大させないためにも国に対し地方交付税の総額確保について強く要望したい。

並行在来線に新駅設置を

問 並行在来線の運営に対す

る本市の考え方は。また、高岡・西高岡駅間を県がモデル事業としたことを受け、本市としても県と連携し、新駅設置に積極的に取り組むべきと考ええるが、見解は。

市長 並行在来線は、将来にわたる安定的な経営と利便性の向上のため、地域住民の重要な交通手段として運営する必要がある。そのため、現在、本市も参画している富山県並行在来線対策協議会で第1次の富山県並行在来線経営計画概要を取りまとめるとともに、三セク会社への出資割合と準備会社への出資金額について了承し、平成24年度予算として計上したところである。新駅設置については、現在、県が新駅設置可能性調査を実施し、高岡・西高岡駅間について、土地区画整理事業に伴う人口増加が期待できる点等を考慮し、モデル事例として検証が行われており、鉄道経営上の観点からも採算性が見込める可能性が高い区間として認識されている。本市としては、地域のまちづくりの観点も加え、新駅設置の妥当性に

ついて評価するため、24年度の県の調査結果を参考としながら、新駅立地可能性調査に取り組んでいきたい。

TPP・消費税問題

問 国政について問う。

(1) TPP問題を本市としてどのように捉えているのか。

(2) 消費税問題を本市としてどのように捉えているのか。

市長 (1) TPPについては、平成24年1月17日より交渉参加に向け関係国との協議が行われており、国内でも農業をはじめ経済界などの各種団体において活発な議論が行われている。わが国がTPPに参加した場合には、農業をはじめ



国民生活を直撃する消費税問題には慎重な議論を

め産業全般にわたり、さらには地域経済にも大きな影響を及ぼすことが懸念される。市長としては、国に対して協議の経過や内容について国民に詳細な情報提供を行うこと、また、農家が安心して生産活動ができ、食料が安定的に供給される仕組みづくりや、様々な地域経済対策への具体的な道筋について、十分な議論を尽くし、国民的な合意を得たうえで、総合的かつ慎重に判断されるよう強く求める。(2) 消費税については、社会保障・税一体改革大綱において、26年度より段階的に引き上げることとされた。増大する社会保障の安定財源確保のため、消費税率の引き上げは避けようがないものと考えている。市長としては、これまでも全国市長会を通じて、地方自治体が地方単独事業も含めた社会保障サービスを持続的に提供できるようにするため、消費税の拡充など偏在性が少なく安定的な地方税体系を構築するとともに、地方財源の充実を図るよう国に働き掛けてきた。今回の大綱において、国と地方の協議の場の意見を踏まえ、地方消費税や地方交付税の拡大により、地方単独事業に対する配慮がされたことは一定の評価をしている。

今後、消費税率引き上げの実施時期は、個々に様相を異にする地域経済の状況に考慮し慎重に判断し、実施の際には、国民生活への影響をできるだけ緩和する措置など、国民が安心して将来展望が持てるよう進めてほしい。



自民党議員会

川島 国

さらなる復興支援を

問 東日本大震災の被災地にまだ残る震災がれきの受け入れについて、基本的には放射能汚染からの安全性が確保され、住民から理解が得られるよう、説明責任を果たしたうえで、積極的に受け入れていくべきと考えるが、見解は。

市長 震災がれきの処理に当たっては、放射性物質に汚染されていない一般的な災害廃棄物を対象として、市民の健康や環境に影響を及ぼさないという安全性の基準とその確認の仕組みが確立され、市民の理解が得られることが前提である。これらの前提条件を整えば、県内他市町村とも連携を図り、県と市がそれぞれの役割分担を明確にしながら、



被災地復興のためにも震災がれきの広域処理の推進を

災害廃棄物の処理の受け入れについて検討していきたい。

予算編成の重点是

問 総合計画基本構想15年間の中期計画となる第2次基本計画は、市長として初めての計画策定だが、その初年度の平成24年度予算編成では、何に重きを置いたのか。

市長 24年度は総合計画第2次基本計画が始動する年であり、総合計画の政策体系を横断して取り組む高岡新世紀創造プロジェクトに掲げた施策に重点的に予算を配分した。北陸新幹線の開業に向けて、環日本海における交通結節点の構築という、都市の強みの整備が着実に進んでいること

を踏まえ、24年度予算においては、交流拠点都市への取り組みを加速する予算とした。すなわち、交流の拡大と拠点性の向上を図るため、都市の強みに加えて高岡らしいものづくりの伝統や豊かな歴史・文化という、まちの魅力を磨き、高め、新しい産業や文化の創造に向かう施策に意を尽くした。これらの取り組みをスタートとして、第2次基本計画に基づき、環日本海において存在感のあるさらりと光るまちの形成を目指したい。

歴史文化都市構想

問 平成23年6月の歴史都市認定を受け、24年度予算の中では「歴史都市・高岡」のまちづくりの方向性をどう打ち出そうとしているのか。

市長 高岡新世紀創造プロジェクトの重点政策のひとつに「歴史・文化」を位置付けている。市民の宝物である高岡の歴史・文化資産の一つひとつを磨き、つなぎ上げ、まちの魅力を向上させたい。市民が誇りと愛着を持って住み続けるまちをつくることともに、観光資源として積極的に活用し、歴史都市・高岡を世界に発信していきたい。これらの実現のため、24年度予算には、

歴史・文化資産を磨く高岡御車山会館の建設事業、歴史・文化資産をつなぐ瑞龍寺道整備事業などを盛り込み、人づくりとして高岡銅器や漆器の希少技術の継承者育成事業などを予定している。これら事業を種として、市民の思いや活動と連携、協働しながら、歴史都市・高岡の構築に向けて努力していきたい。

総合交通対策の推進を

問 北陸新幹線開業に向けた総合交通対策について問う。

(1) 国土交通省は、北陸新幹線が新高岡駅(仮称)を含む全駅に停車するのは、運行本数1日27本のうち13本との資料を示したが、本市としては、どう受け止めているのか。

(2) 新幹線新駅の2次交通として期待され、また、地域住民の交通手段、観光客等の移動手段として重要な城端・水見線の将来にわたる維持存続のために、その直通化を強く要請すべきと考えるが、見解は。

市長 (1)公表された資料は、JRが金沢以西の投資効果と採算性の試算を行う際に何らかの仮定を置く必要から、運行本数等に一定の仮定を設定したものと理解している。運行本数等は、各駅の乗降見込

み数などを勘案して決定すると聞いており、本市と同程度の乗降客数と見込まれる燕三条駅や上田駅で1日20数本の停車実績がある。本市では、新駅に多くの乗降客が見込めるようにすることが重要と考え、新駅周辺整備や新幹線開業に向けたまちづくり、新駅を利用する広域的な観光メニューの開発などに積極的に取り組んできた。新幹線全列車停車は、本市のみならず飛越能の自治体共通の課題であり、その実現を目指してJRをはじめ、国、関係方面に積極的にアピールしていきたい。

都市整備部長

(2)城端線と水見線の直通化については、平成21年度に新幹線開業に向けた公共交通ワーキングにおいて一度検討しているが、課題整理にとどまり、直通化の実現の可否を判断するために必要な検証には至っていない。現在策定中の城端・水見線地域公共交通総合連携計画においては、JR西日本と沿線自治体により、24年度から28年度までの間に直通化について課題整理することになっている。本市としては、24年3月下旬に開催される法定協議会での承認を受けた後、直通化の課題整理に向けて関係者間で取り組んでいきたい。

個別質問

今定例会では、12人が市政全般にわたり質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



中山 欣一
民主クラブ

県西部自治体の中心として

問 本市の強みを活かした革新的な政策により、県西部の政策をリードすることが求められると考えるが、見解は。

市長 越中・飛騨観光圏の設定など広域的な政策推進を周辺自治体と呼び掛け、成果をあげてきた。また、県西部自治体の中心となり広域的な行政システムの構築にも取り組



県西部の中核を担う都市を目指して

んできた。今後、首都圏でのPRイベント等でリーダースhipを発揮していくとともに、本市が積極的な政策提言を行い、引き続き県西部地域全体を牽引する役割を果たしたい。

今後の被災者支援は

問 本市で避難生活を送っている東日本大震災の被災者に対する市の支援の考え方は。

林副市長 市営住宅の無償貸与の延長など、今後も引き続き支援を継続していきたい。さらに、ニーズ調査等を実施し、その意向を踏まえた支援を行うとともに、被災地状況も含めた各種情報の提供など、できる限り支援していきたい。

入所待機者の解消を

問 第5期介護保険事業計画では、特別養護老人ホームの待機者数をどのように把握し、施設の整備計画についてはどう考えているのか。

福祉保健部長 入所待機者は、現在約100人と把握している。また、計画期間中に新たに約100人の施設入所が必要になると見込んでいる。特

別養護老人ホームは150床の増床、地域密着型の特別養護老人ホームは新たに2施設で58床整備し、入所待機者の解消を図っていきたい。



大井 正樹
自民クラブ

交流・観光事業の推進を

問 新幹線開業を見据え、早急に都市圏の方に本市の魅力発信する具体的な運動を進めるべきと考えるが、見解は。

産業振興部長 平成24年度は、JR東日本の首都圏主要駅での電子看板広告などに新たに取り組みこととしている。また、越中・飛騨観光圏による共同出向キャンペーンを、24年度までは中京圏をターゲットとして展開し、25年度以降は新幹線開業を見据えて首都圏にシフトし、圏域が一体となって、知名度向上に積極的に展開していく。

TPP問題

問 TPP問題について問う。

(1) 農家が安心して農業を営むことができる施策を早急につくることが、国に課せられた、最も重要な役割であると考え、見解は。

(2) 輸入品目に対し、非関税障壁をなくすと、わが国の文化などに大きな悪影響を及ぼすと考え、見解は。

産業振興部長 (1) わが国の農業を取り巻く状況を踏まえ、持続可能な力強い農業の確立のため、国において、農業者が安心して農業を営むことができ、かつ、食料が安定的に供給されるための具体的な道筋を示すことが重要であると

考えている。
市長 (2) 本市としては、国に對して、協議の経過あるいは内容について国民に詳細な情報提供を行うことや様々な地域経済対策などへの具体的な道筋について、十分な議論を尽くし、国民的な合意を得たうえで、総合的かつ慎重に判断されるよう強く求める。



金平 直巳
日本共産党

雇用対策の強化を

問 緊急雇用対策における平成22年度の実績と24年度の

国・県と連携した強化方針は。
産業振興部長 22年度の雇用者数は、延べ376人であり、この内訳は男女別で男性229人、女性147人である。24年度予算の緊急雇用創出事業では、国、県が設定している介護や医療などの11分野において積極的な雇用創出を進めたい。

原子力安全協定の締結を

問 原子力安全協定に志賀原発の再稼働についての事前協議、立ち入り調査権の明記を。

市長 志賀原発の再稼働は、事業者が徹底した地震・津波対策を講じるとともに、国が示したストレステストについて、原子力安全・保安院及び原子力安全委員会の審査により、安全が確認されることが最も重要である。また、原発の立地自治体への説明と理解が重要で、その際は本市に十分な説明が必要である。原子力安全協定について、県と氷見市と北陸電力との協議の経緯を見守り、PPAという同じ立場にある関係自治体と足並みをそろえた対応をしたい。

消費税増税に反対を

問 社会保障と税の一体改革による消費税増税については反対の表明を。

市長 増大する社会保障の安定財源確保のため、消費税率の引き上げは避けられないと考えている。引き上げに当たっては、地域経済の状況を慎重に判断し、国には国民生活への影響をできるだけ緩和する措置をとってもらいたい。



吉田健太郎
公明党

地域の福祉ネットワーク

岡 平成24年度より実施される高岡あつまり福祉ネットワーク推進事業の内容は。

市長 市内では、自治会や福祉ボランティアなどが積極的に福祉活動に取り組んでいる。これらの活動の根底にある、高岡に息づく地域の絆やお互い様の心を活かしながら、それぞれの役割を効果的につなぎ、特性を活用するため、コーディネーター役を配し、地域で支え合う福祉ネットワークづくりを進めるものである。

市民レベルでの誘客活動を

岡 市民全員を観光大使と捉えて1人1客キャンペーンの具体的な推進が重要と考えるが、市民や企業への働き掛けの状況と今後の意気込みは。

産業振興部長 本市では、市民の草の根レベルによる誘客キャンペーン「待つとつちや！たかおか」を展開している。このキャッチフレーズのロゴマークを企業の宣伝等に活用してもらいたいと考えている。今後も、市全体でもてなしの心を高めていきたい。

まちなかに海拔表示を

岡 平成24年度に予定されている津波ハザードマップ作成に合わせて、まちなかに海拔表示や海までの距離を示して、ハザードマップの見える化を図るべきと考えるが、見解は。

総務部長 津波ハザードマップ



海拔表示の設置で防災意識の向上を 伏木消防署

は、県が24年3月に発表予定の津波シミュレーションの結果を受けて作成することとしており、作成の際には、津波看板の表示内容や設置場所などを検討し、総合的な避難誘導体制の整備を進めたい。



上田 武
社民党議員団

地震・災害に備えて

岡 安全で安心して暮らせるまちづくり推進について問う。

(1)地域防災計画の見直しの内容は。また、市民にはどのような形で示すのか。

(2)市民が防災意識を高めるとともに、迅速な避難ができるよう、電柱や公共施設、避難所に海拔表示をしてはどうか。

市長 (1)計画の震災編については、災害予防と減災対策、

地域防災力の強化等の見直しを行い、原子力災害対策編は、広域的な避難計画等の見直しを行いたい。市民には、ホームページや広報紙、自主防災の訓練等を通して周知し、より一層の安全・安心のまちづくりを推進していきたい。

総務部長 (2)主な地点の標高や海岸からの距離を示したマップ等を作成し、沿岸部地区

の公民館等で周知している。今後は、緊急時に対応できる津波看板の表示内容や設置場所等についても市民の意見を聞き、防災をより身近に感じてもらえるよう努め、防災意識の向上を目指したい。

義務教育終了まで無料化を

岡 こども医療費助成制度について、入院、通院とも中学3年生まで無料の県内5自治体と助成対象が同じになるよう、引き続き努力すべきでは。

福祉保健部長 入院については、本市の助成実績から自己負担額が通院に比べ高額であることや国の調査データを基に義務教育終了までに拡大し、

通院については、本市の実績と既に中学3年生まで助成対象としている都市の実績等を十分に検討した結果、小学6年生までとしたものである。



永森 茂
自民党議員会

自然エネルギー対策

岡 高岡商工会議所、高岡市商工会、高岡市農業協同組合と連携し、積極的に藻類バイオマス燃料の研究開発に取り組むべきと考えるが、見解は。

産業振興部長 高岡商工会議所等は、藻類バイオマス燃料の研究である本市出身の彼谷筑波大学院教授研究室への視察を行い、研究開発の可能性について調査を行ったと聞いている。今後、藻類バイオマス燃料の課題等が整理され、企業や高岡市農業協同組合など農工商による実用化への取り組みが進められる際には、国、県、関係機関と連携しながら対応していきたい。

公共交通の利用促進

岡 未来トランスポートビジョン支援事業についての平成23年度の成果と評価は。

生活環境部長 23年8月の中間報告では、金屋町や富山大学芸術文化学部までの万葉線の延伸など、まちづくりの構

想と一体となった様々な交通施策が提案され、非常に夢があり、アイデアに富んだ研究成果となっており、参考にすべきものと評価している。

ご当地ナンバープレート

岡 ご当地ナンバープレートの導入をTR@P事業の一つとして検討しては。

産業振興部長 原動機付自転車のオリジナルナンバープレートは、市民に親しまれるデザインにすることにより、地

域振興や観光振興につながるものと考えており、その中で、高岡らしさと高岡をアピールできるナンバープレートへの導入について検討したい。



進 島村
社民党議員団

原子力防災計画の改正を

問 原子力防災について問う。

(1)本市も北陸電力に対し、安全協定の締結を申し入れるとともに、県に対しても本市を含めた協定の締結を要請すべきと考えるが、見解は。

(2)震災がれきの広域処理・受け入れ問題について、放射能汚染の拡散・拡大を防ぐことを基本に、国の責任で行うべきである。震災がれきの本市での受け入れはすべきではないと考えるが、見解は。

市長 (1)県では、氷見市とともに北陸電力と安全協定締結に向けた協議に着手している。まずは、その経緯を見守るとともに、PPAという同じ立場の関係自治体と足並みをそろえた対応をしたい。

(2)震災がれきの処理に当たっては、その処理の過程はもとより、将来にわたり、健康や環境に影響を及ぼさないとい

う安全性の確認と市民の理解を前提条件に、災害廃棄物の処理の受け入れについて検討していきたい。

武道必修化への対応は

問 平成24年度から始まる武道の必修化について、市内12中学校の検討状況と実施体制の内容は。

教育長 市内12中学校のうち11校で柔道を選択し、また、1校では柔道と剣道のうち生徒が1種目を選択することとなっている。実施に当たっては、施設や用具面と指導面の



武道から礼儀や伝統文化を学ぶ

両面で安全に配慮して進めている。また、指導者は、柔道有段者の体育教員が全中学校に配置され、さらには、3校では地域の外部指導者による指導体制ができています。



立志 酒井
自民党議員会

野球ジュニア層の強化

問 県は、甲子園ベスト8を目指して高校野球の強化を図っており、その目的達成には野球ジュニア層の強化が重要と考えるが、本市の対策は。

教育長 ジュニア選手の育成強化は、高校野球の強化につながる効果的な方策と考えている。その育成強化策としては、レベルの高い野球技術に直接触れ、習得を図ることが大切であると考えている。また、子どもの能力などに応じたサポート体制などの環境づくりにも取り組んでいきたい。

野球場に甲子園の特徴を

問 高岡西部総合公園に建設予定の野球場には、甲子園の特徴をできるだけ多く取り入れることで、野球場の個性を出すべきと考えるが、見解は。

教育長 野球場に甲子園の特

徴を取り入れることは、利用者の興味を高め、本市の野球競技のさらなる発展につながるものと考えている。今後、整備を進める中で、少しでも甲子園のグラウンドに近い感触でプレーできるように努めたい。

パリのトップセールス

問 パリの見本市「メゾン・エ・オブジェ」でのトップセールスの成果と感想は。

市長 「メゾン・エ・オブジェ」に本市の4団体が出展することとは初めてであり、行政面からバックアップするため、現地の主催団体等を訪問し、積極的にPRをしてきた。出品品の品質と独自性が評価され、継続出展や新規企業の出展を期待され、高岡のデザイン・工芸品がヨーロッパ市場でも十分に通用すると実感できた。



一郎 金森
政 峰 会

新幹線開業のムードづくり

問 新幹線開業に向けて市民・企業・各団体の機運をどのように盛り上げていくのか。

都市整備部長 新幹線開業を見据え、官民一体となった取り組みが必要と認識している。

本市としては、他市の推進体制などの先例について、調査研究を進めるとともに、庁内関係部局で連携を取りながら、開町400年の成果を踏まえ、高岡らしい機運の醸成のあり方について検討したい。

都心エリアの土地利用

問 都心エリアにおける都市構造や有効な土地利用のあり方の検討に着手する目的は。また、具体的にはどのようなことをするのか。

市長 都心エリアは、県西部の中心都市としてふさわしい、にぎわいと魅力ある都心空間の創出と、広域の中心核の形成を図っていく必要がある。このため、平成24年度は、エリア内の土地利用の現況調査を行い、基本的な考え方を取りまとめた。今後、この調査を基に、北陸新幹線開業後の都心エリアのあり方として、集約型都市構造の実現に向けた検討を行っていきたい。

桜の里帰り事業を成功裏に

問 高峰譲吉氏がアメリカに桜を贈って平成24年が100周年となるが、市の見解と取り組みは。

教育長 本市としては、桜の里帰り事業を計画している実行委員会に協力するとともに、

金沢市と連携を図り、高峰讓吉博士顕彰会の協力も得ながら、この事業が成功裏に開催されるよう願っている。



石須 大雄
社民党議員団

伏木地内の水道管の更新を

問 伏木富山港については、今後、船舶給水の増加が予想されるが、伏木地内の水道管の更新を行っては。

水道事業管理者 船舶給水の現在の施設能力は、他の拠点港と比較しても遜色なく、需要の増加に対応できると考えている。また、伏木地区の老朽铸铁管の更新は、水道ビジョンの後期計画において、平成28年度までに残り約9kmの更新を計画している。

防災行政無線の強化を

問 釣りや海水浴客など港・海岸付近にいる人への警報、避難勧告の方法は。

総務部長 平成23年度では、港・海岸付近にいる人にも速やかに避難勧告等の情報を伝達するため、万葉ふ頭に防災行政無線の子局1基を増設し、伝達エリアを拡大することとしている。今後も、様々

な伝達手段の活用も検討しながら、緊急時等における情報伝達体制の強化を図りたい。

新幹線の全列車停車を

問 国土交通省が北陸新幹線の本数の試算を公表したが、見解は。また、新高岡駅（仮称）に全列車が停車するよう要請を。

市長 公表された資料は、金沢以西の投資効果などの試算を行う際に、運行本数等に一定の仮定を置く必要があったものと理解している。また、先例によれば、運行本数等は、JRにおいて決定されると聞いており、本市としては、新幹線全列車停車を目指し、国やJRなどの関係機関に対し働き掛けていきたい。



水口 清志
自民クラブ

消雪装置助成制度

問 消雪装置の設置に向けた市民の取り組みを積極的に応援するためにも、助成額を引き上げるべきと考えるが、見解は。

建設部長 助成額の引き上げは、他市の事例をみながら調査・研究していきたい。



大河ドラマの本格的な誘致を 中田公園 木曾義仲像

大河ドラマの誘致を

問 歴史的にも本市に関係のある木曾義仲のNHK大河ドラマ誘致に向け、県西部のリーダーとして、本市も積極的に協力すべきだが、見解は。

産業振興部長 富山県木曾義仲広域連携推進会議には、本市も会員として参画し、ゆかりの自治体などとの情報交換を通じて、住民の機運醸成に努めている。今後も構成メンバーの一員として、構成市町村などと連携を図り歩調を合わせ、官民一体となり大河ドラマ誘致活動に取り組みたい。

販路拡大の支援を

問 市民の様々な海外活動や

海外展開を市長自ら応援していくことは力強いことであり、これからも応援することが必要と考えるが、見解は。

市長 中小企業や地場産業における販路拡大の取り組みについては、市長自らがPRに赴くことで、有力バイヤーへの橋渡し等、中小企業単独では荷の重い部分について応援できるものと考えている。このため、平成24年度は海外見本市出展補助金を創設する予定である。今後とも、関係機関などとタッグを組みながら、市長自らが汗をかき、意欲ある企業を応援し、元気なまち高岡を構築していきたい。



樋詰 和子
公明党

ごみ収集の民間委託の拡大

問 ごみ収集業務の民間委託の拡大を。また、今後のスケジュールを明確に。

生活環境部長 本市のごみ収集業務については、平成18年に策定した行財政改革推進方針に基づき、順次民間委託を進めてきたところである。また、22年に策定した行財政改革アクションプランでは、27年度初における委託化率の目

標を60%として掲げており、今後とも、計画的な委託の拡大を図っていききたい。

まちなかのにぎわい創出

問 交流拠点都市のにぎわい創出について問う。

(1)金屋町鋳物工場跡地整備事業のスケジュールと活用体制は。
(2)市街地をまるごと会場にした街コンを七夕まつりなどのイベントに合わせて開催し、商店街の活性化とにぎわいづくりの創出や若い世代に出会いの場の提供を。

教育長 (1)平成26年度に現況調査や設計等を行い、27年度から2カ年で工場の復元修理等を実施する計画としている。金屋町の観光拠点施設としての活用や、鋳物産業等の紹介・体験施設として整備することを考えており、金屋町のまちづくり資する施設としての整備も検討している。

産業振興部長 (2)街コンは、全国の各都市で開催されており、若者の出会いの場の提供や商店街のにぎわいの創出につながっていると考えている。今後、若者を中心とした団体などから具体的な提案があれば、市としても、関係機関と協議をして応援していきたい。

総括質問

総括質問は、1人25分の持ち時間で、一問一答方式で行われ、今定例会では、2人の議員が質問に立ちました。



曾田 康司
自民クラブ

喜ばれる現駅周辺整備を

問 高岡駅付近で自転車の南北移動が可能となれば、自転車利用者の乗り換え利便性の向上となると思うが、見解は。

生活環境部長 駅付近での自転車の南北移動が可能となれば、自転車利用者の利便性の向上が図られ、万葉線なども



高岡駅の南北市街地をつなぐ万葉ロード

利用しやすくなるを考える。
問 現駅と周辺整備を進めるに当たり、多様化する市民ニーズ等に対応するため、定期的に各部を横断して情報や意見を交換する場を設け、その結果をまちづくりの反映していくことが真の意味での市民に喜ばれるまちづくりにつながると思うが、見解は。

林副市長 部局を横断した協議・調整の場を設けることは、情報や課題を共有し、部局間での対応の齟齬や重複を防ぎ、課題解決に向けた効果的な手法など、市民ニーズへの迅速かつ的確な対応につながる有効な方策であると考えている。

問 高岡駅や駅周辺は、全ての人々に快適で便利に安心して使ってもらおうよう整備すべきだが、その決意と方針は。

市長 高岡駅周辺地区は新しい高岡の顔として整備するため、平成24年度の現況基礎調査結果などを踏まえ、有効な都市的土地利用のあり方を検討するとともに、駅直近部の整備や中心市街地の活性化の推進を図っていきたい。また、新幹線開業後も念頭に置き、

高岡駅周辺に人々が集い、にぎわうような地域の交流拠点空間を創り上げ、市民が誇りを持ち、高岡を訪れる人に自慢できるようなまちづくりに努めていきたい。



狩野 安郎
自民党議員会

定期高速バスの運行は

問 県内では、高速バス利用の増加に対応するため、バス事業者が名古屋への増便を行

っており、東京・名古屋方面には高岡駅周辺から毎日発着をしている。こうした状況を踏まえ、スマートインターチェンジ付近での高速バス停留所の設置の狙いは。

都市整備部長 現在、北陸自動車道では、定期高速バスが1日に約50往復通過している。その中には大阪方面や新潟・仙台方面へのバスも含まれており、これらの高速バスを、設置する停留所で乗降できるようにすることで、市民の利便性の向上を図りたい。

問 今回設置予定のバス停留所での乗降を考えた場合、高速バス利用者の駐車場が必要であると思われるが、駐車場の規模に対する見解は。

としては、定期高速バスの停車想定本数、乗車率の見込みや他市の事例などを参考に、100台程度の駐車スペースを考えている。
問 高速バス停留所の完成と同時に、高速バスが運行されることが望ましいが、高速バスの運行には、新たな路線として国土交通省からの認可が必要である。バス事業者との調整を含め、完成時期までのスケジュールについて、どのように考えているのか。

都市整備部長 スマートインターチェンジの供用に合わせ、高速バスの停留所の完成を目指している。このため、平成24年度には、バス事業者と調整を行いながら、高速バス停留所の整備に着手したい。

都市整備部長 駐車場の規模

議会日誌

12月定例会後～3月定例会前

- 12月22日 議会広報編集委員会
- 1月10日 議会広報編集委員会
- 2月 1日 議会改革検討委員会
- 10日 経済消防常任委員会
- 13日 議員説明会
- 15日 民生病院常任委員会
- 20日 建設水道常任委員会
- 21日 総務文教常任委員会
- 22日 議会運営委員会
- 24日 正副常任委員長会議
- 28日 新幹線・公共交通対策特別委員会
議会改革検討委員会

3月定例会

- 3月 1日 議員協議会
本会議（提案理由説明）
議案説明会
- 2日 議案説明会
- 5日 本会議（追加提案理由説明）
議案説明会
- 6日 本会議（代表質問）
- 8日 議会運営委員会
本会議（個別質問）
- 9日 本会議（個別質問）
- 13日 総括質問
議会改革検討委員会
- 15日 代表者会議
民生病院常任委員会
経済消防常任委員会
- 19日 議会運営委員会
建設水道常任委員会
総務文教常任委員会
- 22日 委員長会議
議会運営委員会
議員協議会
本会議（議案など議決）
議会運営委員会

委員会の動き

4 常任委員会では、委員が次の観点に立って当局の考えを聞き、新年度予算など付託議案の審査を行いました。

○総務文教常任委員会

- ◆35周年記念としてフォートウエーン市親善交流事業費が予算計上されているが、具体的な事業内容は。
- ◆大幅に地域防災計画推進事業費が増額となっているが、その主な要因は。また、ヨウ素剤等の購入の考え方は。
- ◆自主防災組織育成事業費の平成24年度の目標組織率は。
- ◆ものづくり・デザイン科推進事業費と少人数教育推進事業費の現在の状況と評価は。



観光大使「あみたん娘」も初公開 松原秀典原画展

○民生病院常任委員会

◆伏木地区のコミュニティ施設については、平成23年度中に施設の基本計画を策定するということが、地元住民と

の協議の進捗状況と今後の施設整備のスケジュールは。

- ◆平成24年4月1日から定家保育園が民営化されるが、現在の業務引き継ぎの状況は。
- ◆本市における特別養護老人ホームの待機者100人のうち、自宅待機者は何人いるのか。また、入所の見通しについて、待機者にはどこからどのように伝えられるのか。
- ◆薬品の購入方法は。薬品費は、収益的支出の中でも大きな割合を占めるため、購入に際しては、抑制の努力を徹底されたい。

○経済消防常任委員会

◆県補助金である水と緑の森づくり交付金を、本市としては県定公園である西山丘陵等の里山整備に活用してはと考えるが、その取り組み状況は。

◆たかおか未来WEB商店街開設事業費では、平成24年度はより多くの参加者を募集し、店舗数を増やしては。

- ◆本市も大河ドラマ誘致に関する実行委員会を立ち上げ、本格的に取り組むべきでは。
- ◆職人の後継者不足は市場ニーズの低下が一因と考えられるが、市場の拡大対策は。

○建設水道常任委員会

- ◆新幹線開業に向けた城端・氷見線イメージアップ事業費の内容と実施期間は。
- ◆耐震シェルター等設置支援事業費は新規事業か。また、この事業の内容とPR方法は。
- ◆まちなか居住支援事業費の中で支援の対象となっているまちなか共同住宅建設促進事業制度の内容は。
- ◆新幹線新駅周辺で整備される

る駐車場の建設費と用地費の見込み額は。また、財源の考え方は。

編集後記

未曾有の大災害となった東日本大震災から1年余りが経過し、市議会としても復興に全力で取り組むと同時にその教訓を活かした地域防災計画の見直しを図り、安心・安全な高岡市を目指したい。

3月定例会において提案された予算は、一般会計で前年度比3.6%増の3年連続の積極型予算編成となっている。しかし、新幹線開業後を見据えたまちなか施策をはじめ総合計画第2次基本計画に掲げた施策の展開により、市債の発行に頼る財政運営となっており、予算の執行に当たっては、厳しいチェックで望んでいきたい。また、議会基本条例及び倫理条例の制定で、開かれた議会を目指していきたい。

(上田記)

6月定例会の予定

6月定例会は、下記のとおり開催される予定です。

なお、日時等は、6月1日(金)開催予定の議会運営委員会で決定されます。

- 8日(金) 10時 議員協議会
- 13時 本会議
(市長の提案理由説明)
- 12日(火) 9時 議会運営委員会
- 10時 本会議 (個別質問)
- 13日(水) 10時 本会議 (個別質問)
- 14日(木) 13時 民生病院常任委員会
- 13時 経済消防常任委員会
- 15日(金) 10時 議会運営委員会
- 13時 建設水道常任委員会
- 13時 総務文教常任委員会
- 19日(火) 9時30分 委員長会議
- 10時 議会運営委員会
- 11時 議員協議会
- 13時 本会議
(議案・意見書など議決)

❖ 詳しい内容については、高岡市議会事務局(☎20-1531)までお問い合わせください。

市議会の傍聴

本会議及び委員会は、どなたでも自由に傍聴できます。

本会議は82名(うち車椅子利用者は5名)まで、委員会は7名まで傍聴できます。

最近の定例会の傍聴者数

| 定例会 | 本議会 | 委員会 |
|--------|------|-----|
| 23年 6月 | 103人 | 0人 |
| 23年 9月 | 84人 | 6人 |
| 23年12月 | 39人 | 3人 |
| 24年 3月 | 40人 | 0人 |

★編集委員

◎川島、◎曾田、吉田、中山、永森、金森、上田、水口、南部、青木、荒木

(◎)委員長 (○)副委員長